

観光振興ビジョンの中間点検について

令和7年度第3回ニセコ町観光審議会
2026年2月 ニセコ町





- 1 指標の見直しについて
- 2 中間点検のアウトプットについて
- 3 今後の審議会スケジュール



観光振興ビジョンの 数値目標(KPI)

数値目標

令和元(2019)年度

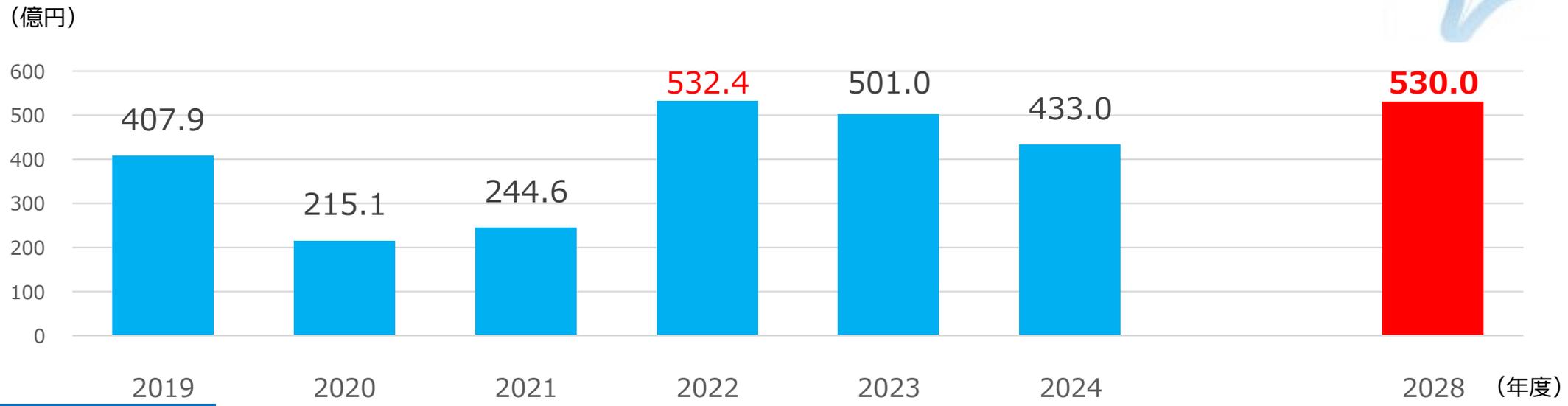
令和10(2028)年度

【指標1】 観光消費額	407.9億円	→	530.0億円
【指標2】 延べ宿泊者数	47.3万人	→	80.0万人
【指標3】 観光客満足度	21.3%	→	30.0%
【指標4】 リピーター率	80.9%	→	70.0%
【指標5】 宿泊客1人1泊当たり CO ₂ 排出量	27.3kg/人・泊	→	15.3kg/人・泊 ※44%削減
【指標6】 観光で生活が豊かになると 思う町民の割合	40.0%	→	60.0%

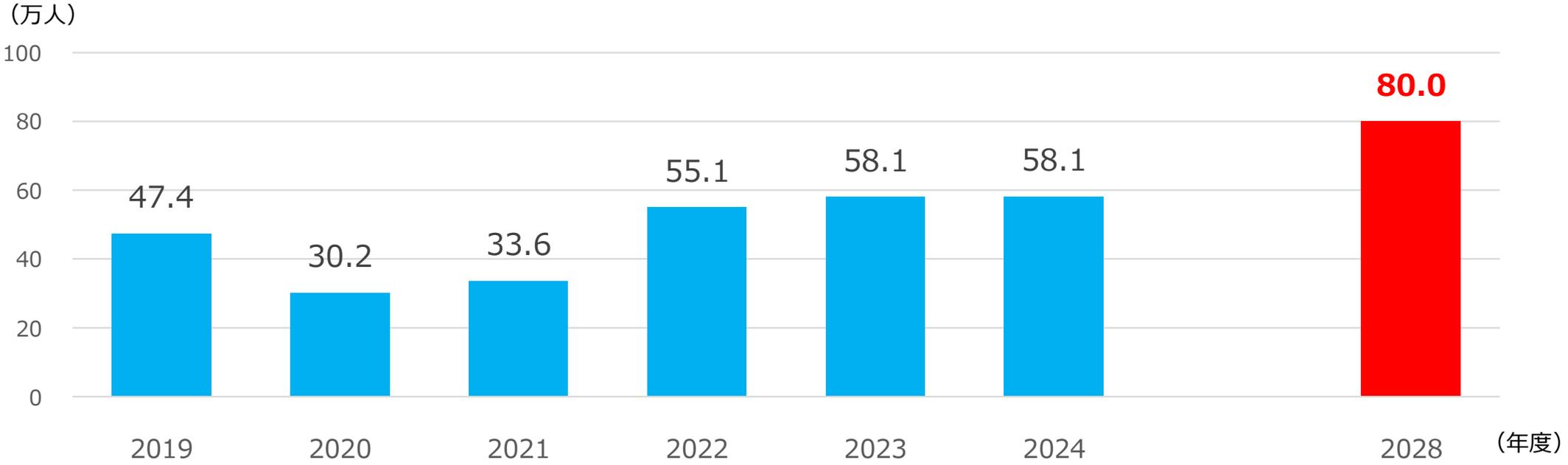
【指標1】観光消費額／【指標2】延べ宿泊者数



観光消費額



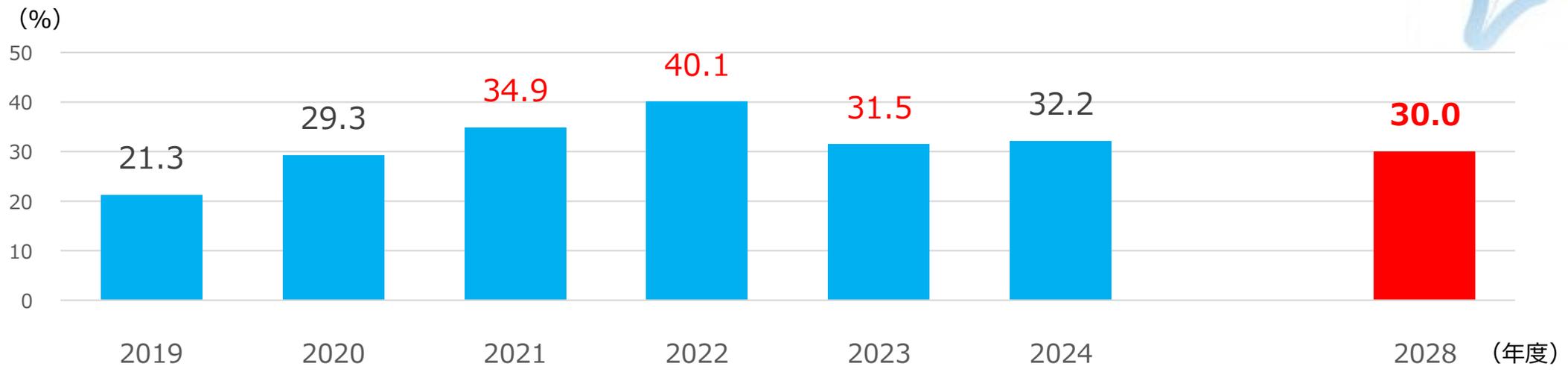
延べ宿泊者数



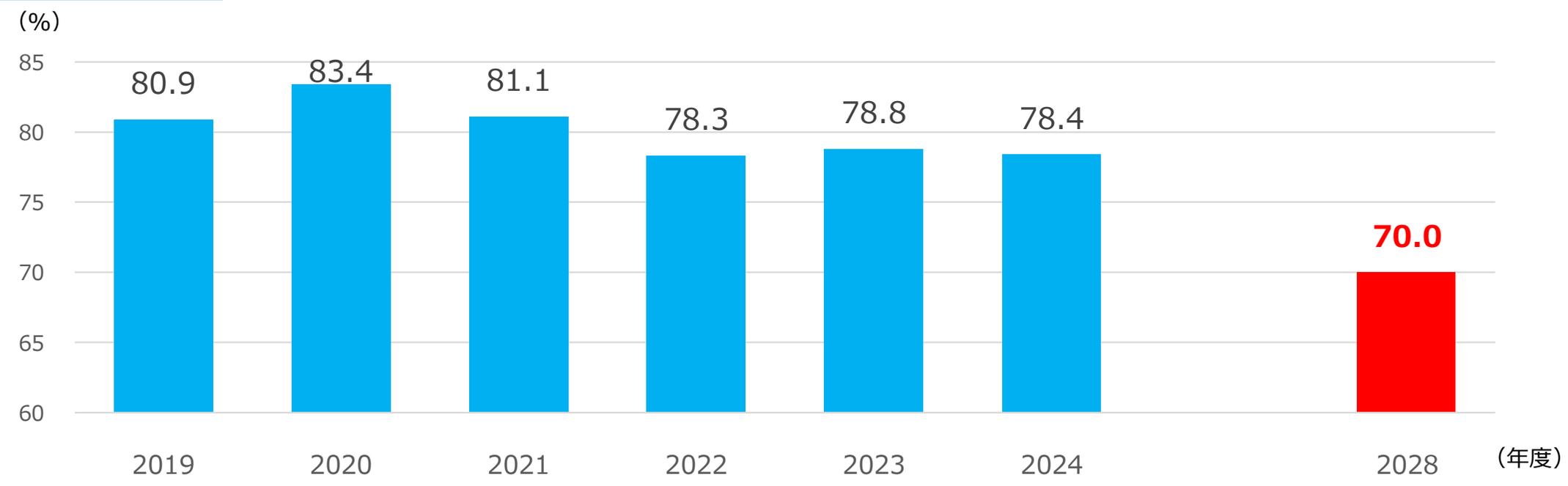
【指標3】観光客満足度／【指標4】リピーター率



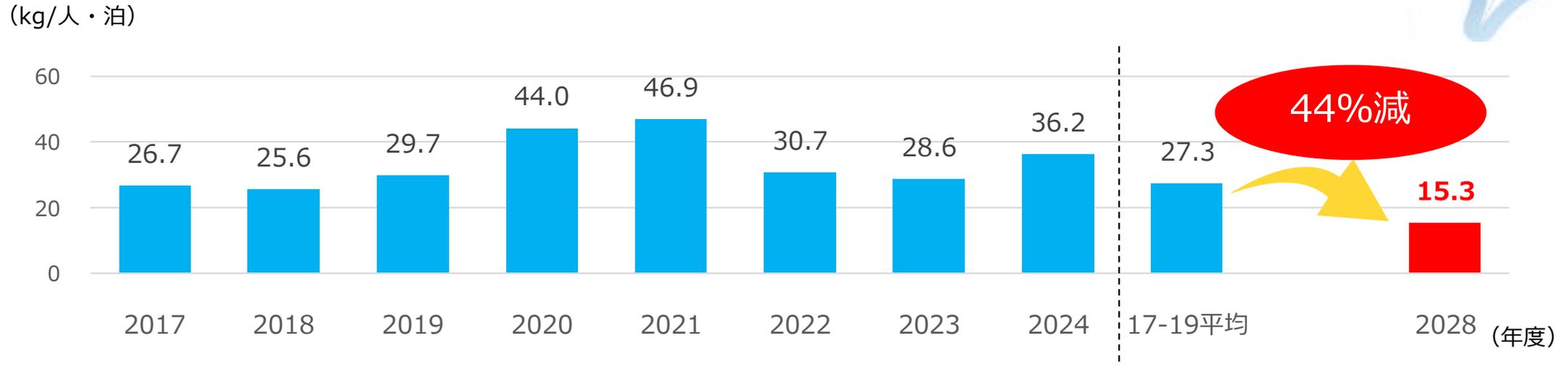
観光客満足度



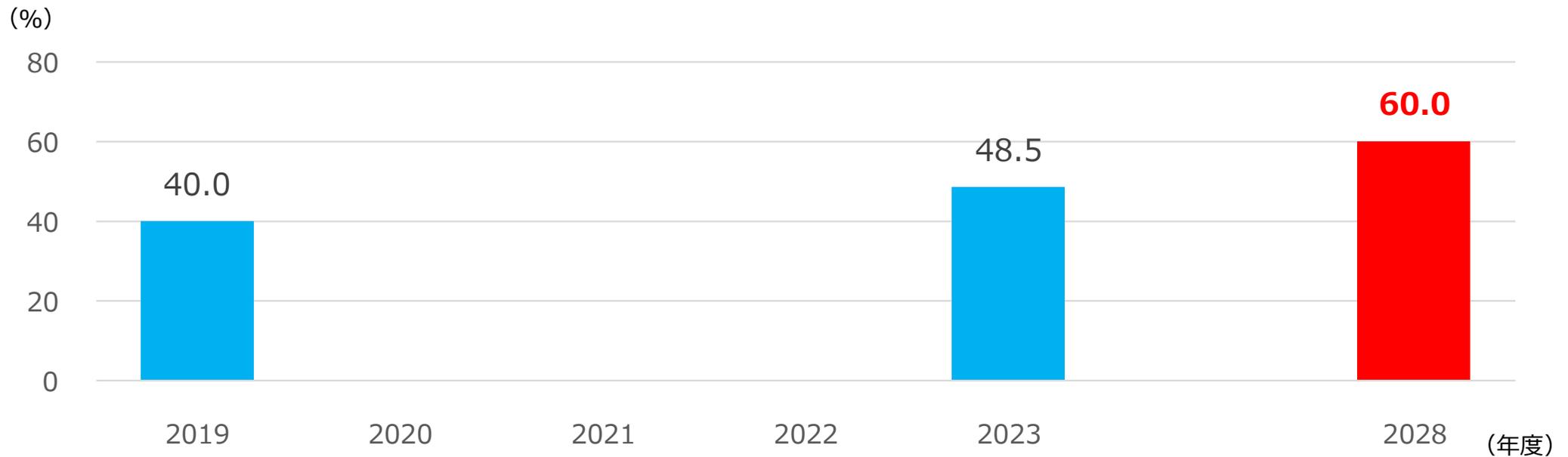
リピーター率



CO₂排出量



観光で生活が豊かになると思う町民の割合





これまでの審議会でもいただいた主なご意見

【指標1】観光消費額について

- ・目標値（530億円）は順調だが、物価上昇や為替の影響を除いた「実質的な収入」が増えているか分析すべき。
- ・単なる合算ではなく、宿泊・飲食・交通などの費目別比率を把握し、地元事業者への経済還流を見える化すべき。

【指標2】延べ宿泊者数について

- ・人手不足やスタッフの住宅不足が深刻な中、80万人という数を目指すだけの段階ではなく、現場が対応可能か再整理が必要。
- ・単なる「頭数」ではなく、平均滞在日数を指標化すべきである。連泊は人手不足対策や環境負荷低減に繋がる。
- ・夏冬の繁閑差が大きいため、季節ごとに目標を分けるべきである。特に冬は既に飽和しており、抑制の考え方も必要である。

【指標3】観光客満足度

- ・満足度だけでなく「なぜ不満足だったのか」という不満点（交通の不便さ等）に焦点を当て、宿泊税を投じて改善すべき。
- ・満足が否かを聞かれて、なかなか不満足と答える人は少ないので、高みを目指すうえでも、「大変満足と答えた方の割合」を指標に設定すべきではないか。



これまでの審議会でもいただいた主なご意見

【指標4】リピーター率について

- ・「新規獲得のためにリピーター率を下げる（70%）」という目標設定は、成熟した観光地を目指す方針やファンを大切にしている姿勢に逆行しているのではないかと懸念されている。
- ・リピーターは獲得コストや環境負荷が低いと見られるため、率を維持・向上させつつ、過ごし方（消費費目）が広がるような指標の工夫が必要である。
- ・延べ宿泊者数の増加を目指していくのであれば、リピーターの数確保しないと難しいのでは。

【指標5】宿泊客1人1泊当たりCO2排出量について

- ・客数が減ると数値が悪化する（固定費的なエネルギー消費のため）算出式を改め、努力が反映されやすい方法を検討すべき。
- ・1人あたりの数値だけでなく「排出総量」や「ゴミの総量」を重視すべきである。特に観光客が捨てていく「スーツケースの不法投棄」など具体的な問題への見える化が必要である。

【指標6】観光で生活が豊かになると思う町民の割合

- ・宿泊税が交通充実やインフラ整備にどう使われているか、町民が恩恵を実感できる形で周知を強化すべきである。
- ・物価高（ニセコ価格）の中で町民が疎外感を感じないように、ローカルプライス（町民割引）の導入を急ぎ、観光が生活を良くしていると親が子に語れる仕組みが必要である。

【その他】

- ・様々な取組とKPIの因果関係が分かりづらいので、もう少しわかりやすい工夫をすべきではないかと懸念されている。

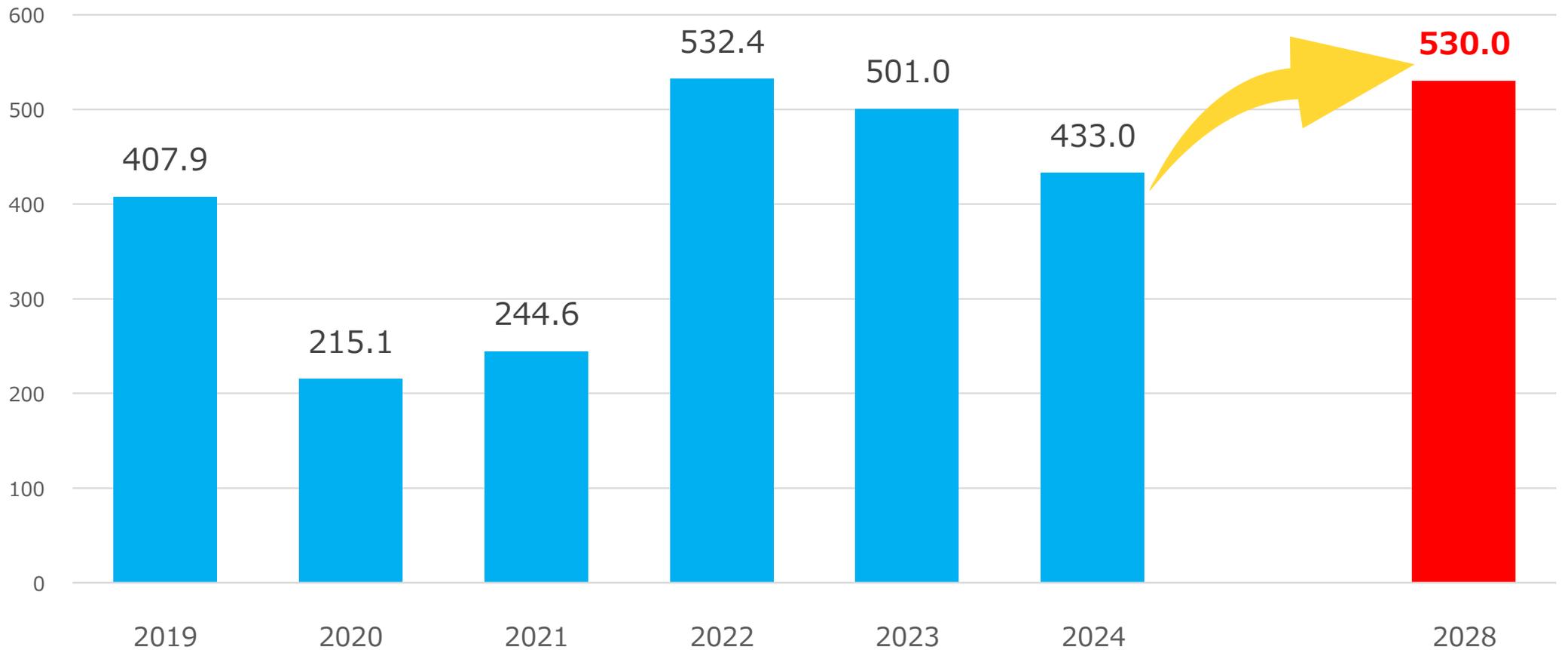


【指標1】観光消費額

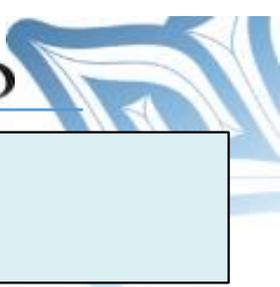
- 2024年度の消費額は433.0億円と、2023年度からは減少（2022年度は目標を達成）。
- 2022-2023年度はコロナ明けのリベンジ消費と考えられるため、**目標は変更しない**こととする。

観光消費額

(億円)



(年度)

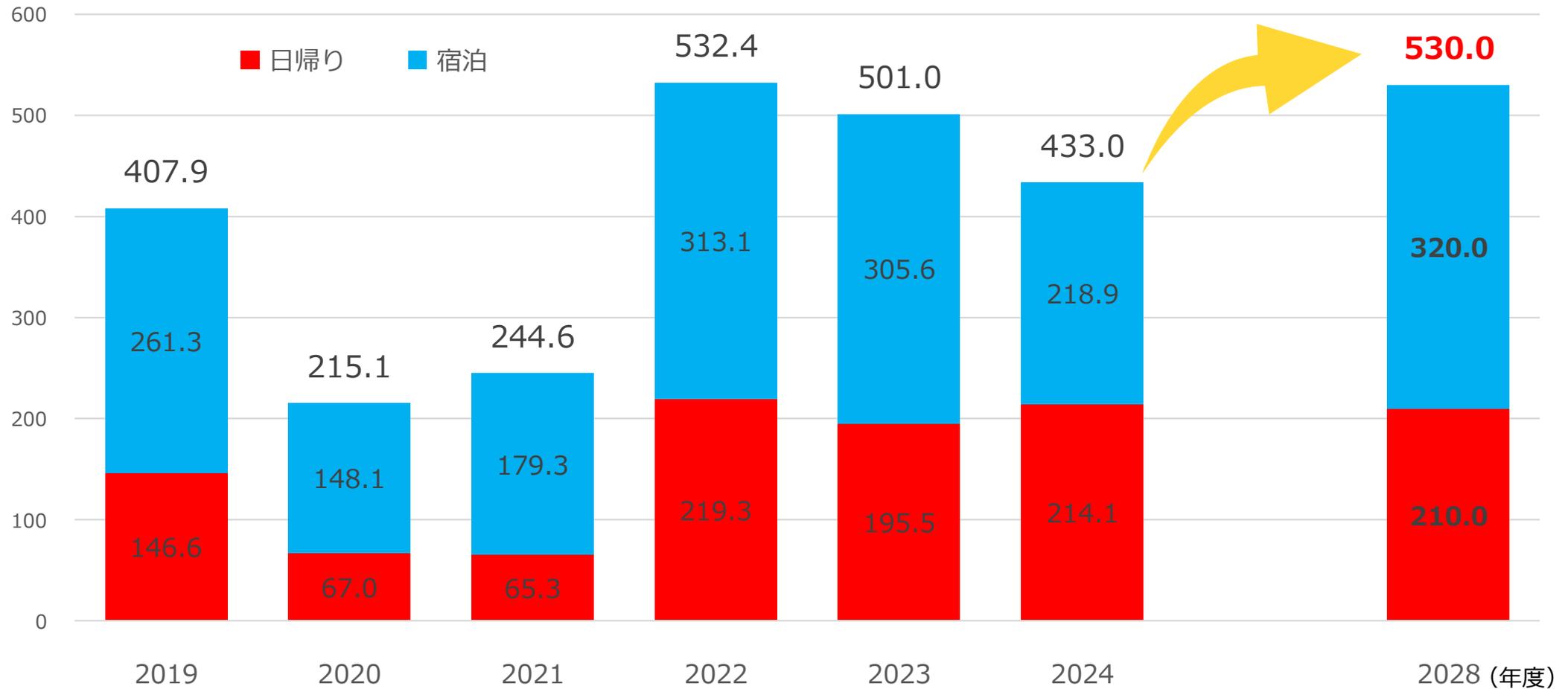


【指標1】観光消費額の内訳

- 2024年度の消費額を見ると、宿泊客の消費額の減少が著しい。
- 今後指標1の資料を用いる際は日帰り／宿泊別を示す形で掲載することとする。

観光消費額

(億円)



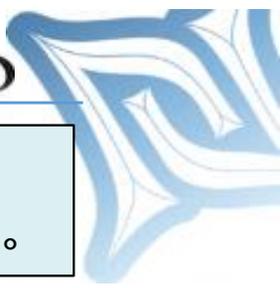
【指標1】観光消費額の内訳（参考）



		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2028
合計	消費額（億円）	407.9	215.1	244.6	532.4	501.0	433.0	530.0

日帰り	入込数（人）	1,418,882	731,701	768,320	1,026,498	1,187,607	1,296,154	1,400,000
	単価（円／人）	10,329	9,157	8,496	21,362	16,460	16,519	15,000
	消費額（億円）	146.6	67.0	65.3	219.3	195.5	214.1	210.0

宿泊	入込数（人）	333,834	208,221	239,860	401,499	413,944	328,732	400,000
	単価（円／人）	78,282	71,143	74,772	77,979	73,816	66,584	80,000
	消費額（億円）	261.3	148.1	179.3	313.1	305.6	218.9	320.0

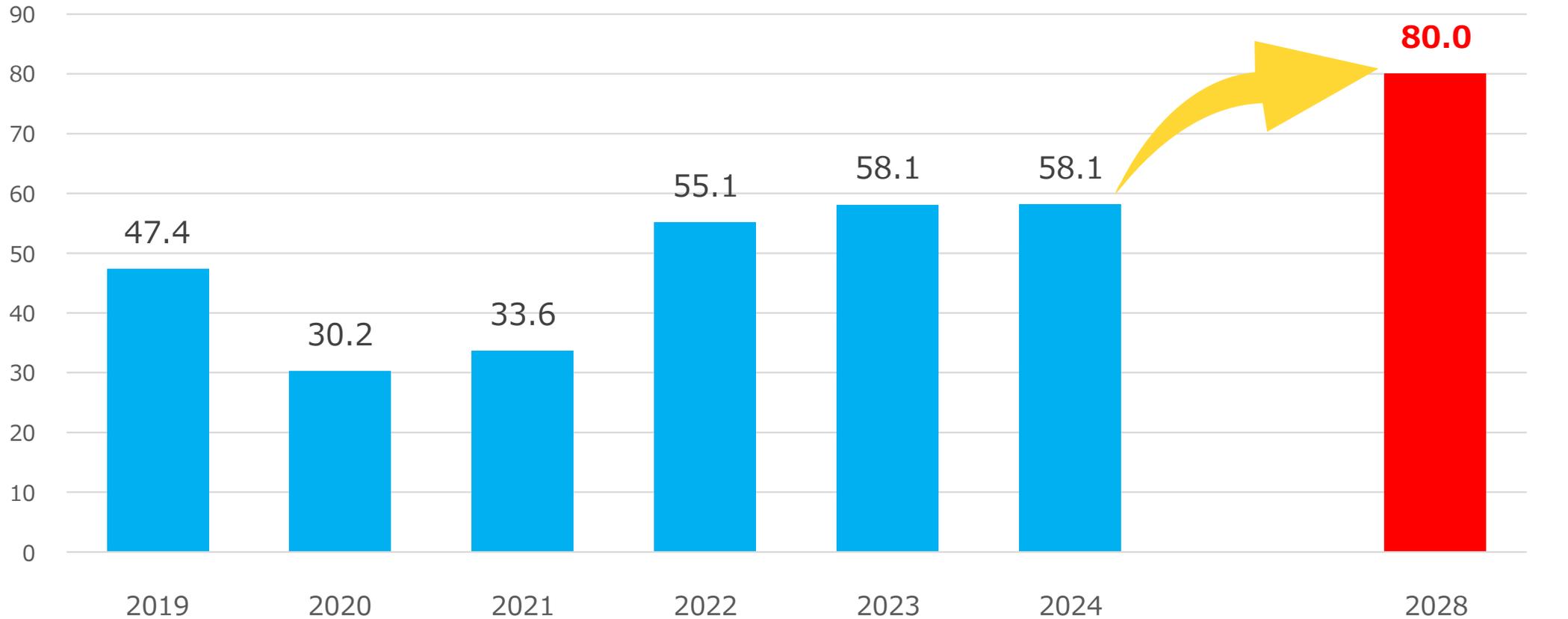


【指標2】延べ宿泊者数

- 2024年度の延べ宿泊者数は**58.1万人**とコロナ前を超える水準となった（2023比：微増）。
- オフシーズンの宿泊客数の底上げ等により、**目標は変更せず**、**2028年度に80万人**を目指す。

延べ宿泊者数

(万人)



(年度)

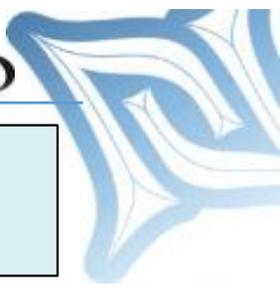


【指標2】延べ宿泊者数の関連

- 宿泊者数を月別で見ると**トップ3をウィンターシーズンが独占**しており、3か月で約4割を占める。
- グリーンシーズンに注力することにより、ピークの平準化を目指していく。

※ピーク率：宿泊者数トップ3÷合計

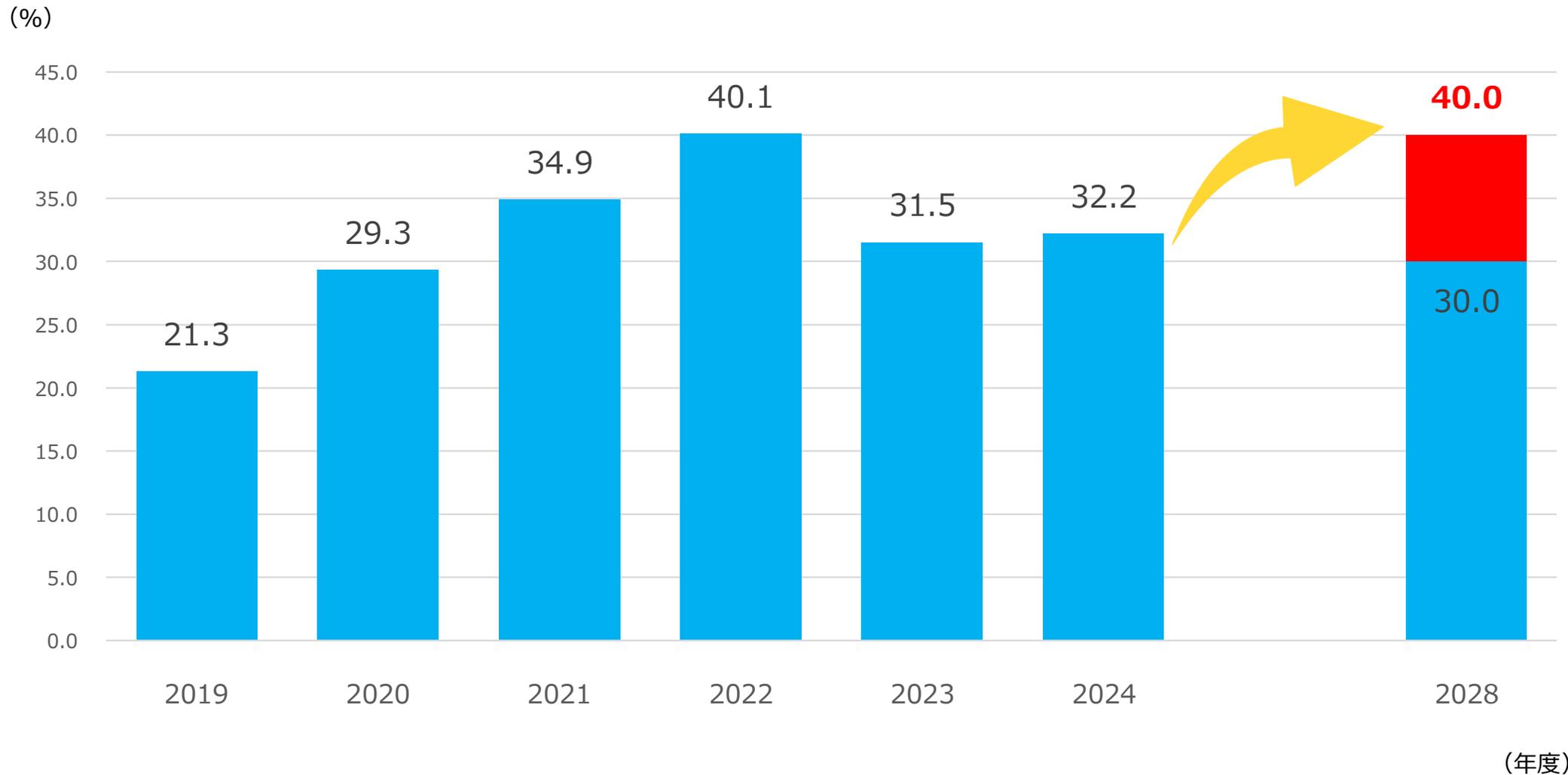
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	ピーク率
2019	25,590	33,635	34,767	44,406	54,899	38,619	34,656	33,635	34,767	44,406	54,899	38,619	472,898	31.4%
2020	5,040	4,526	8,625	20,380	32,099	33,003	30,930	19,809	33,120	40,300	36,766	37,470	302,068	37.9%
2021	11,250	14,694	12,788	28,330	30,619	24,630	28,650	18,414	40,860	49,073	37,355	39,360	336,023	38.5%
2022	19,530	32,457	37,950	46,049	54,776	45,187	34,110	22,972	58,970	78,897	69,285	50,700	550,883	37.6%
2023	17,061	27,416	30,731	41,219	48,683	32,581	42,120	23,746	72,912	103,317	83,371	57,432	580,589	44.7%
2024	16,389	24,459	28,646	37,957	48,384	30,874	34,114	17,329	79,320	109,430	92,721	61,830	581,453	48.4%

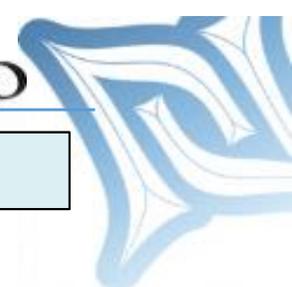


【指標3】観光客満足度

- 2024年度の観光客満足度は**32.5%**と、すでに**2028年度目標：30%**を達成。
- 実際の値は「大変満足」の割合であり、**目標を上方修正**するとともに、**名称を変更**したい。

観光客大変満足度（仮）





【指標3】観光客大変満足度（仮）の関連

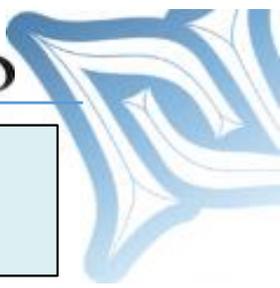
○審議会でご意見のあった「不満足」の割合は非常に低い。

■本地域の総合満足度（全体/単一回答）

Q9. 本地域での、今回の滞在の総合満足度はどのくらいですか？（○は、1つだけ）

		満足・計			どちらでもない (4)	不満・計			無回答	満足・計	不満・計	加重 平均値
		大変満足 (7)	満足 (6)	やや満足 (5)		やや不満 (3)	不満 (2)	大変不満 (1)				
●凡例												
全観光圏：2024年度・合計	(n= 6,443)	35.4%			43.4	12.5	0.6	0.1	91.4	0.8	6.15	
【ニセコ観光圏】：2021年度	(n= 688)	34.9			40.1	10.2	0.4	0.2	85.2	0.6	6.16	
【ニセコ観光圏】：2022年度	(n= 858)	40.1			37.4	11.9	2.0	0.7	89.4	0.7	6.24	
【ニセコ観光圏】：2023年度	(n= 533)	31.5			44.5	13.5	2.1	0.8	89.5	0.9	6.12	
【ニセコ観光圏】：2024年度	(n= 556)	32.2			40.7	11.5	0.5	0.2	84.4	0.7	6.09	
来訪回数別												
初めて	(n= 99)	25.3			41.4	16.2	8.1	1.0	82.8	1.0	5.88	
リピーター	(n= 436)	35.1			42.0	11.0	4.4	0.7	88.1	0.7	6.14	
滞在時間別												
日帰り・計	(n= 313)	26.5			42.8	14.1	7.4	—	83.4	—	5.98	
宿泊・計	(n= 219)	42.5			41.1	9.1	0.9	—	92.7	1.4	6.25	
来訪時期別												
夏季調査：2024年度	(n= 549)	32.1			40.6	11.7	0.6	—	84.3	0.7	6.09	
冬季調査：2024年度	(n= 7)	42.9			42.9	—	—	—	85.7	—	6.50	
調査地点別												
ニセコ+蘭越	(n= 317)	28.1			46.1	12.9	6.3	—	87.1	—	6.03	
倶知安	(n= 239)	37.7			33.5	9.6	1.3	—	80.8	1.7	6.19	
ニセコ観光圏：2024年度 外国語票	(n= 6)	66.7			33.3	—	—	—	100.0	—	6.67	

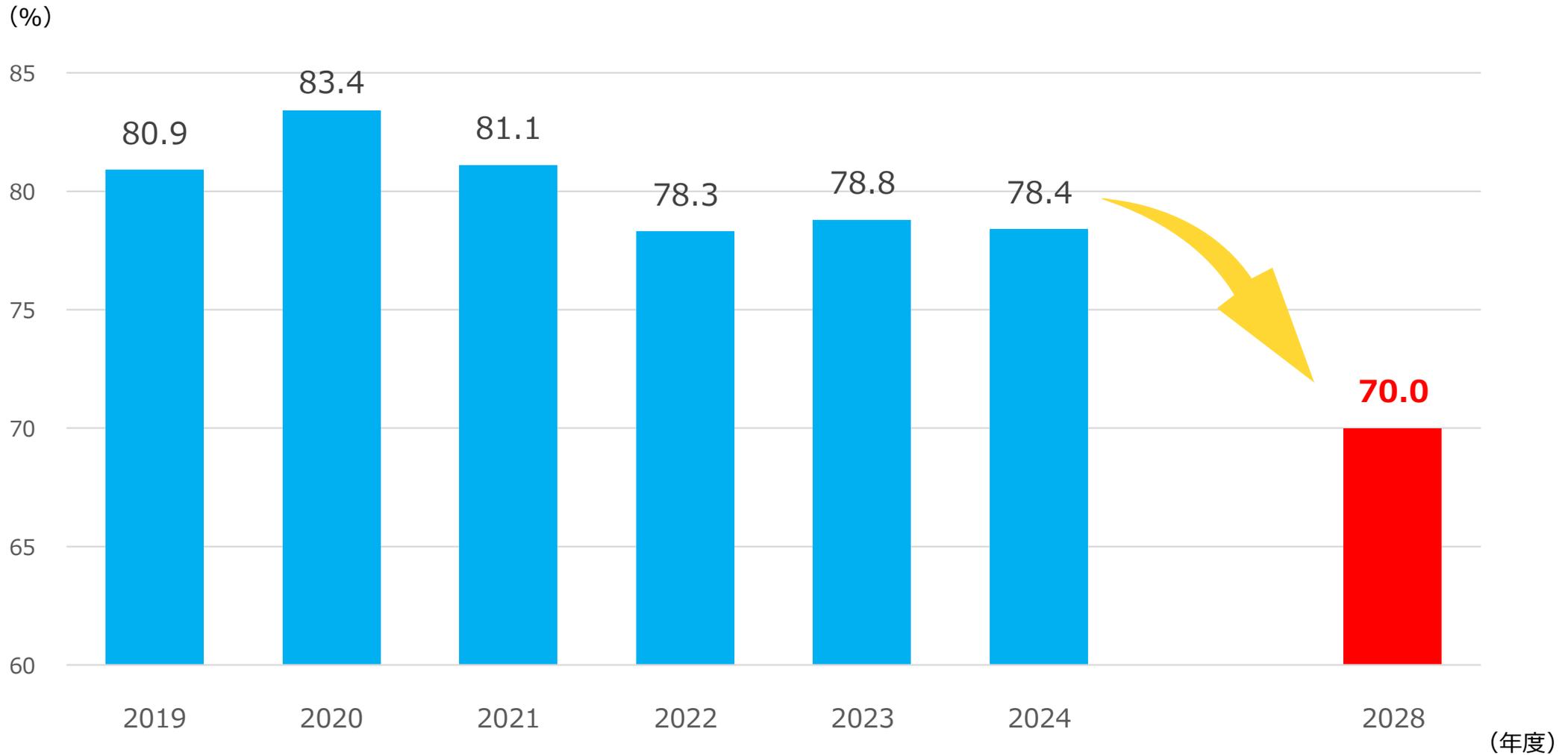
- 『全観光圏：2024年度・合計』より10ポイント以上高い数値に網掛け： **+10**
- 『全観光圏：2024年度・合計』より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け： **+5**
- 『全観光圏：2024年度・合計』より5ポイント以上10ポイント未満低い数値に網掛け： **-5**
- 『全観光圏：2024年度・合計』より10ポイント以上低い数値に網掛け： **-10**

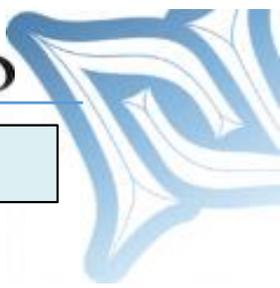


【指標4】リピーター率

- 2024年度のリピーター率は78.4%と、2023年度から微増。
- 過去の審議会でのご指摘等を踏まえ、新たに**新規来訪率（仮）**を指標に設定したい。

リピーター率

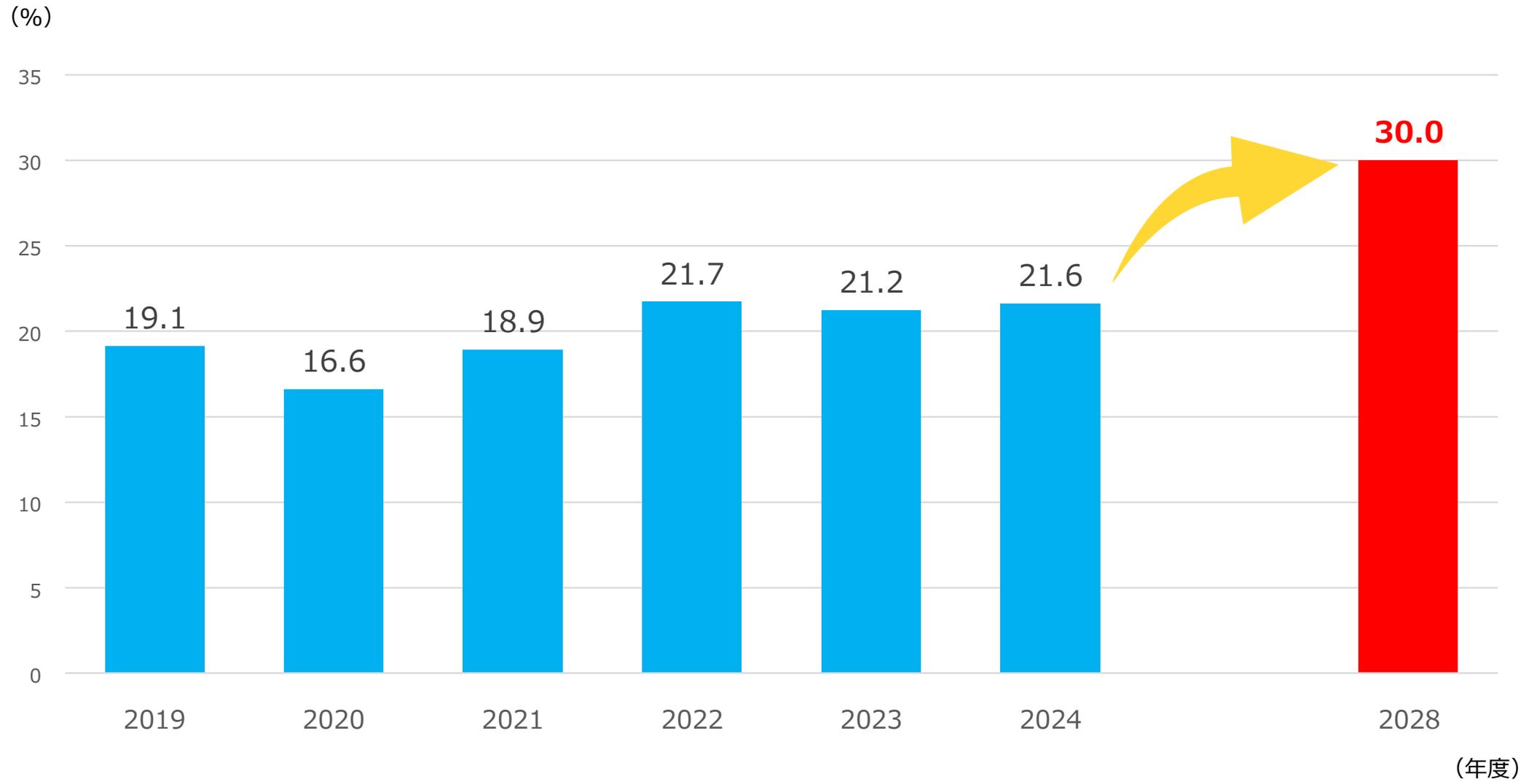




【指標4】新規来訪率（仮）

○「リピーターでない方＝新規来訪者」のため考え方は従来より変更なし。

新規来訪率（仮）



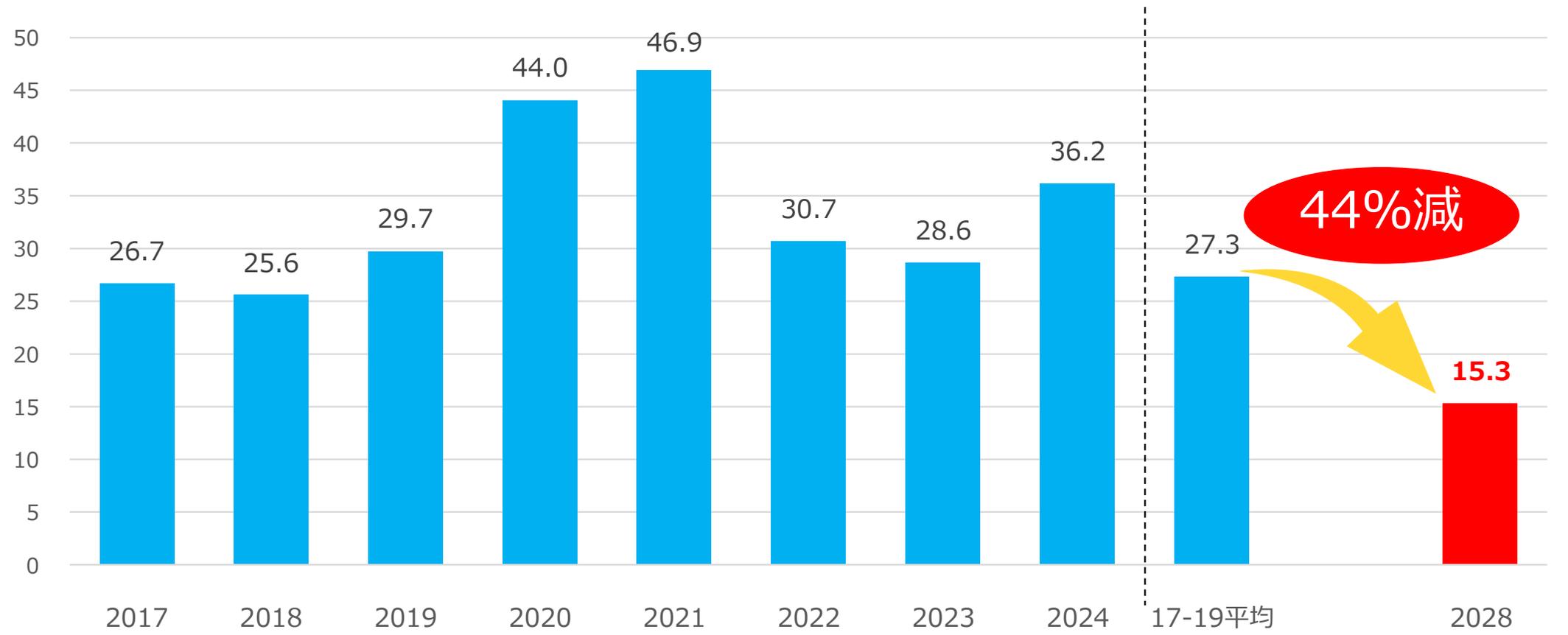


【指標5】宿泊者 1 人 1 泊当たりCO₂排出量

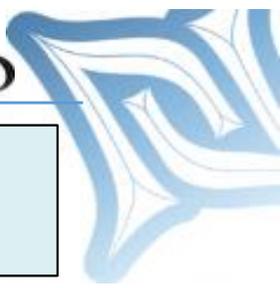
- 2024年度は36.2kg /人・泊と、コロナ前比より少し数値が上昇。
- 環境負荷削減に繋がる取組などにより、**目標は変更せず**、引き続き**コロナ前比44%の削減**を目指す。

CO₂排出量

(kg/人・泊)



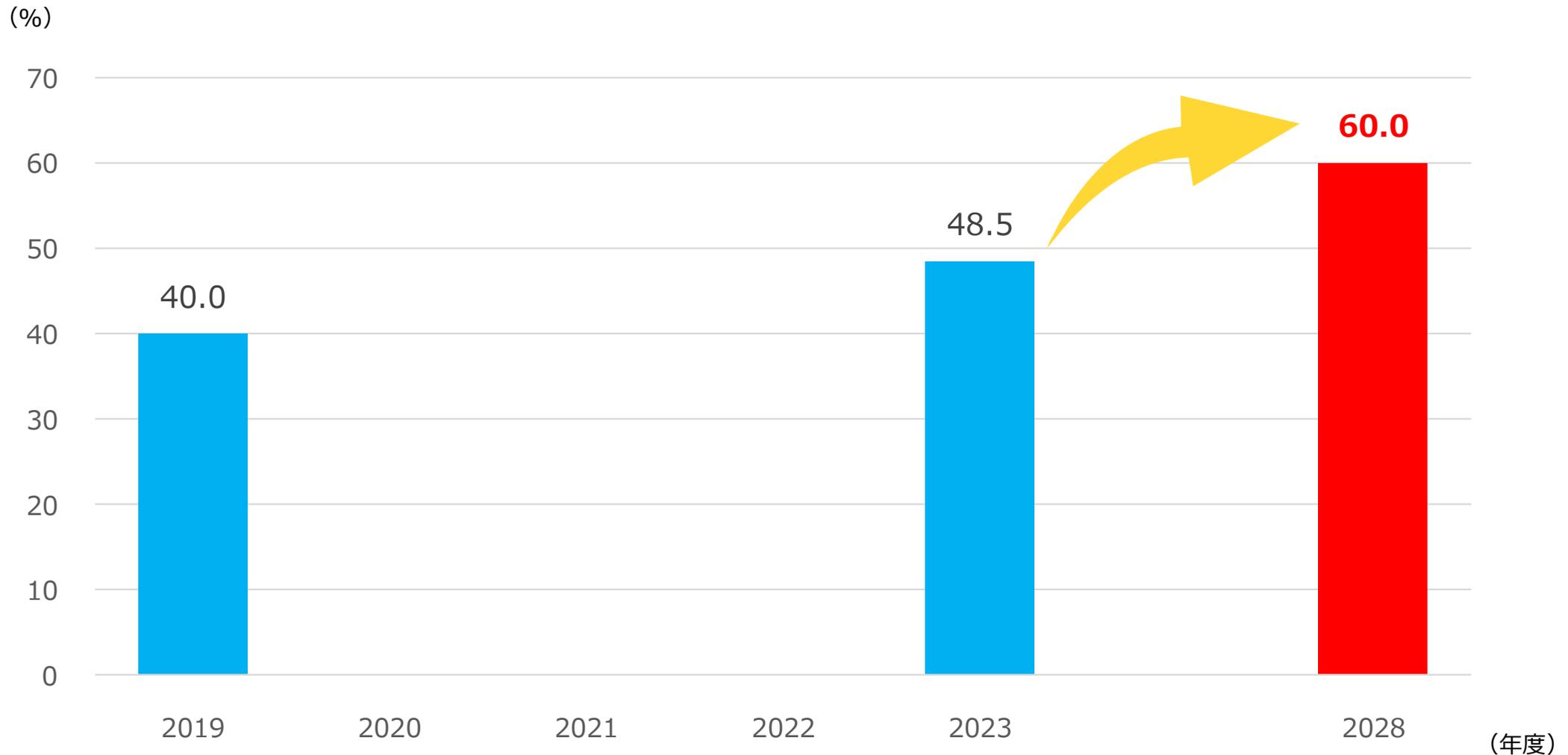
(年度)



【指標6】観光で生活が豊かになると思う町民の割合

- 2023年度2回目の調査を実施し、2019年度よりも割合は向上。
- 観光客の行動変容喚起等の取組により、**目標は変更せず**、2028年度に60%を目指す。

観光で生活が豊かになると思う町民の割合

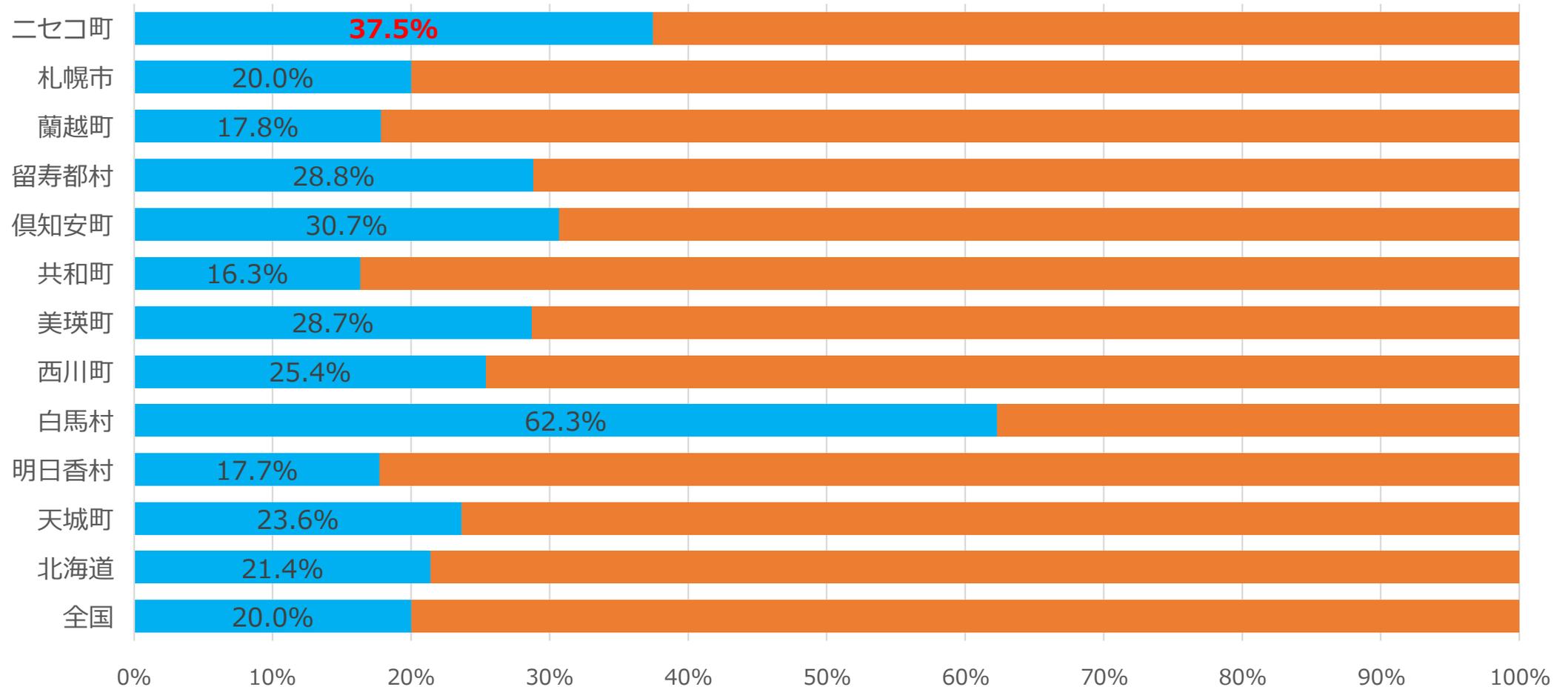




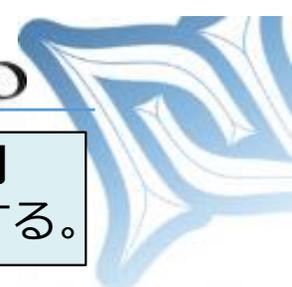
【指標6】観光で生活が豊かになると思う町民の割合の関連

○これまでの審議会でも議論のあった「観光の効果の見える化」の観点から、**観光産業が雇用**に占める割合、**事業所数**、**人口1,000人当たりの飲食店数**、**商工会員数**を関連するデータとする。

観光産業が町内事業所に占める割合



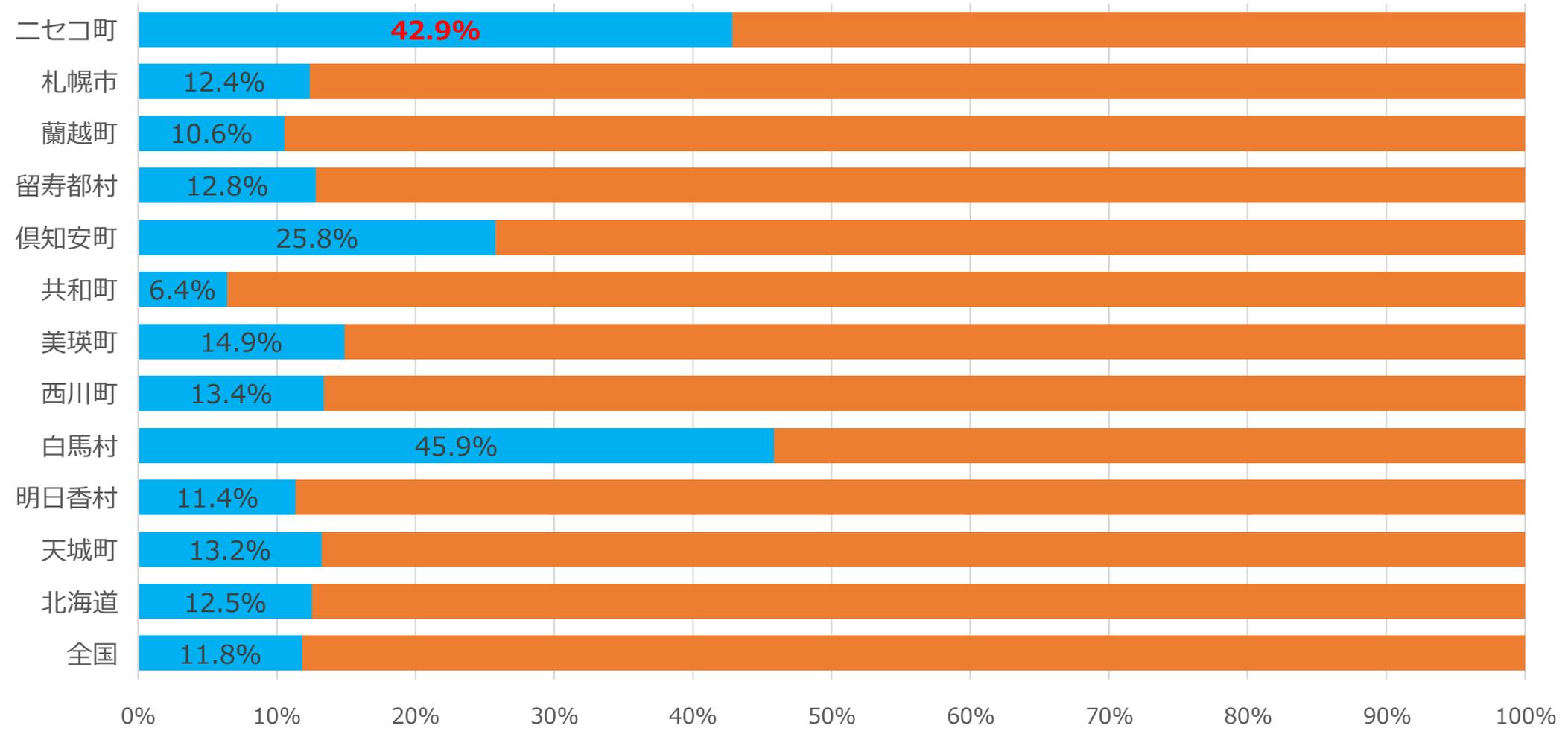
出典：経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」
※比較にあたっては、近隣、人口、BTVなどを考慮



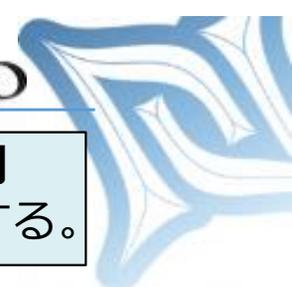
【指標6】観光で生活が豊かになると思う町民の割合の関連

○これまでの審議会でも議論のあった「観光の効果の見える化」の観点から、**観光産業が雇用**に占める割合、**事業所数**、**人口1,000人当たりの飲食店数**、**商工会員数**を関連するデータとする。

観光産業が町内雇用 に占める割合



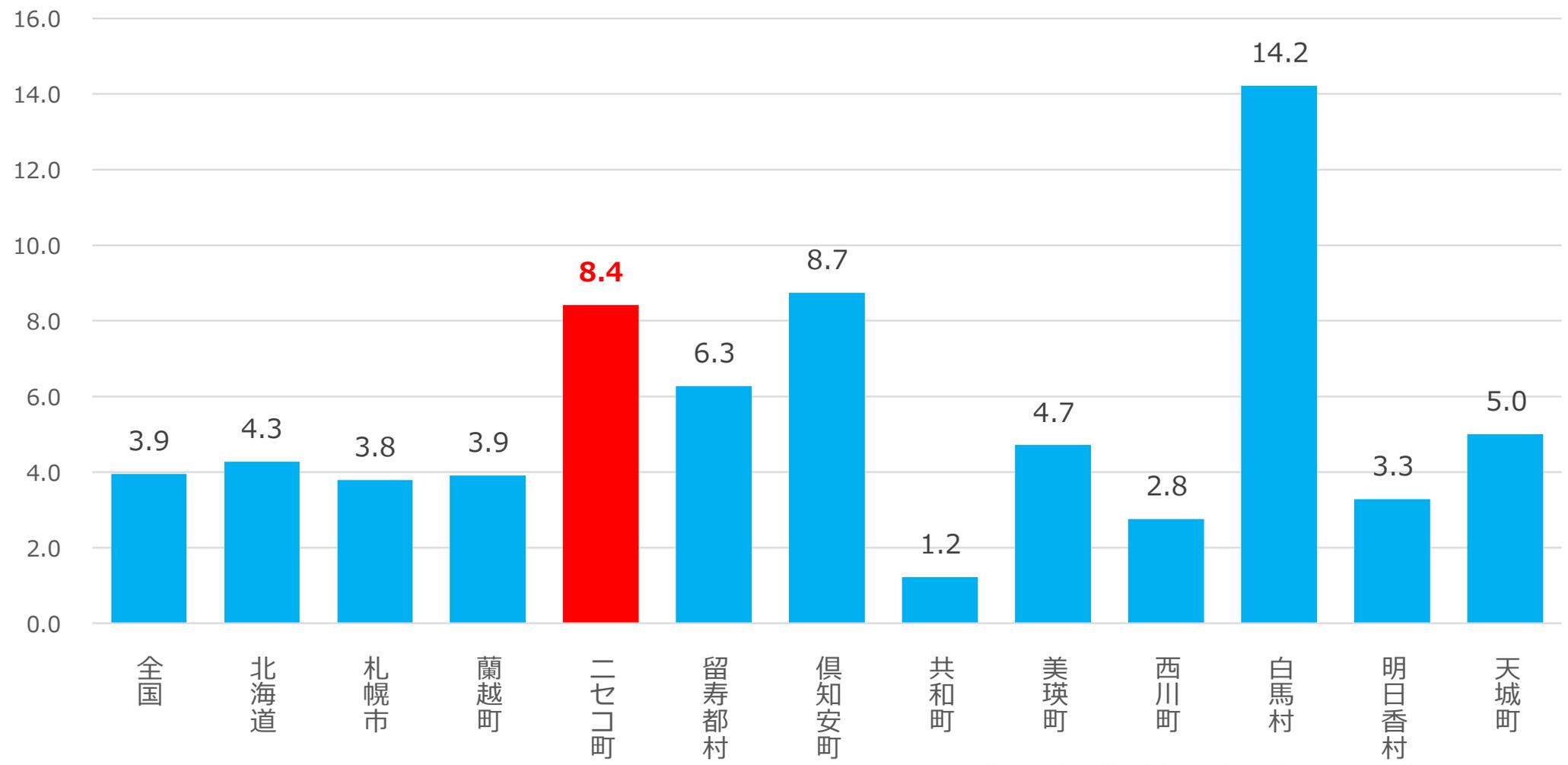
出典：経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」
※比較にあたっては、近隣、人口、BTVなどを考慮



【指標6】観光で生活が豊かになると思う町民の割合の関連

○これまでの審議会でも議論のあった「観光の効果の見える化」の観点から、**観光産業が雇用**に占める割合、**事業所数**、**人口1,000人当たりの飲食店数**、**商工会員数**を関連するデータとする。

人口1,000人当たりの飲食店数



出典：経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」
 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
 ※比較にあたっては、近隣、人口、BTVなどを考慮

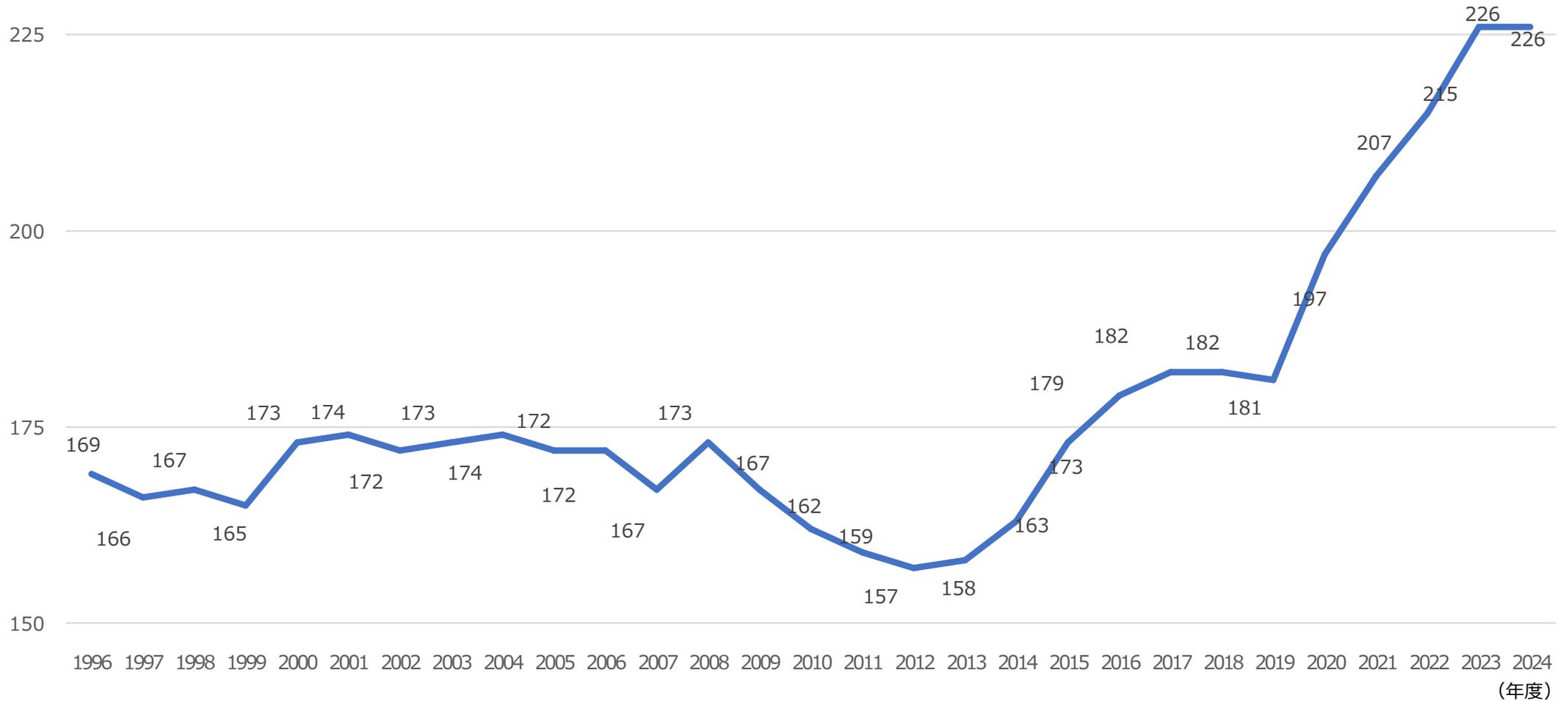


【指標6】観光で生活が豊かになると思う町民の割合の関連

○これまでの審議会でも議論のあった「観光の効果の見える化」の観点から、**観光産業が雇用**に占める割合、**事業所数**、**人口1,000人当たりの飲食店数**、**商工会員数**を関連するデータとする。

商工会員数

(事業者)





- 1 指標の見直しについて
- 2 中間点検のアウトプットについて
- 3 今後の審議会スケジュール



中間点検のアウトプットについて

本中間点検を踏まえたアウトプットとして、以下項目の掲載を想定

(資料 2 参照)

- ・本中間点検の位置づけ
- ・観光に関する施策の展開状況
- ・各指標の結果
→観光の効果の見える化の観点から、関連指標の結果も記載することとする
(例) 雇用効果 (観光産業の占める割合)、飲食店数、商工会員数
- ・宿泊税の活用について



- 1 指標の見直しについて
- 2 中間点検のアウトプットについて
- 3 今後の審議会スケジュール



本日 **観光振興ビジョン中間点検 イメージ共有**



適宜 **ご意見を踏まえた修正の実施**
※適宜メールでやりとり予定



3月 **観光振興ビジョン 中間点検の公表**



○指標の見直しについて

- ・もう少し高い目標を掲げるべきではないか
- ・他にふさわしい指標があるのではないか
- ・（仮）で設定している指標の良い名称

等

○中間点検のアウトプットについて

- ・他に記載すべき内容があるのではないか
- ・他に参考にすべき関連するデータがあるのではないか

等